

とっとり 県議会だより

令和3年9月定例会

No.038

Sep.
9
月
議会

主な記事 Contents

代表質問2~3p
一般質問4~8p
お知らせ8p
委員会活動9p
議決結果10~11p
高校生からの提言・質問12p



アーチェリー部



サッカー部



レスリング部



弓道部



剣道部



柔道部

コロナ禍でがんばる県内高校生（運動部）のみなさん

9月定例会の概要 (9月14日～10月11日)

開会日、平井知事から総額152億7千万円余の令和3年度鳥取県一般会計補正予算（第6号及び第7号）などが提案されました。

代表質問は鳥取県議会自由民主党、会派民主の所属議員が行い、一般質問には24名の議員が登壇。県政の諸課題について知事らと活発な議論を展開しました。

議決の状況

【知事提出議案】

- ◎予算議案 <<可決6件>>
- ◎条例議案 <<可決3件>>
- ◎人事議案 <<可決1件>>
- ◎その他議案 <<可決3件、承認1件、継続審査3件>>

【議員提出議案】

- ◎意見書 <<可決5件、否決3件>>

【請願・陳情】

- ◎陳情 <<採択1件、趣旨採択2件、不採択8件>>

表紙の写真

コロナ禍でがんばる 高校運動部の写真

新聞部のある県内高校に写真をご提供いただきました。

(提供：倉吉西高等学校、倉吉農業高等学校、鳥取中央育英高等学校、米子北高等学校)

次号は文化部を掲載予定です。



★議員別の議案等への賛否の状況は10,11ページでご覧いただけます。

代表質問

鳥取県議会自由民主党



藤井 一博 議員
選挙区 東伯郡



全国知事会長として

問 第14代全国知事会長に就任した意気込みを問う。

答 新型コロナウイルスを始めた様々な危機と闘い、新しい日本とふるさつをつくるのが最優先課題と考える。現場主義と連帯で貢献する知事会として、日本の困難を乗り切る原動力をつくっていく。

コロナ禍における財政運営

問 今年度の財政運営に関する現状認識と財政誘導目標の見通しについて所見を問う。

答 新型コロナウイルス対策等の影響で、歳入ベースの決算が3844億円と知事就任以降最大の歳出規模となった。歳入では、税収は減少しているものの、交付税は当初予算

より30億円の上振れで、地域間財政格差の是正を求める動きなどが奏功した。交付税や地方創生臨時交付金、包括支援交付金等を積極的に充当、活用し、今年度も乗り切っていく。基金残高、公債残高、黒字のプライマリーバランスの3つの財政誘導目標を達成した形での任期に引き継ぐ。

新型コロナウイルスへの対応

問 新型コロナウイルス感染症について、感染拡大期の医療提供体制、ワクチン接種状況、抗体カクテル療法の治療実績を問う。

答 人口当たり病床数は全国2位の多さを確保。感染拡大期には重症者用にベッドを確保しておく必要がある。「鳥取方式+α」(※1)という形をとる。重症化を防ぐためには初期治療が重要であり、メディカルチェックセンターを設置し、重症化リスクのある方を見逃さない体制を整えた。宿泊療養、在宅療養においても、医師会、病院、看護協会と連携し医療と看護で見守る体制を組んだ。ワクチン接種は2回接種済み者の県内人口

に占める割合が約57〜58%程度となった。モデルナ製やアストラゼネカ製のワクチンも活用しながら、さらにワクチン接種を進める。抗体カクテル療法は、基礎疾患のある方を対象とし原則入院で投与する。現在、12の病院で75例の投与実績がある。18の協力病院と話し合い、感染拡大期にも対応できる機動的な体制を構築している。

農業振興について

問 「鳥取と言えば梨」の圧倒的ブランド力を維持するため、持続可能な梨産地活性化に取り組むべきでは。

答 梨は鳥取県のシンボルである。新甘泉、ハウス二十世紀梨など高単価の梨も注目されている。ハウスやジョイント栽培等に補助拡大をしてきたが、各種助成制度の改善等について現場とも話をしていく。今後も梨の付加価値を高める支援を継続し、梨の生産額の増加を図っていく。

島根原発2号機について

問 原子力防災対策にかかる費用について、適切な負担のあり方を中国電力に求めるべきでは。

答 専門家を雇う人件費など、国の交付金の対象外となるものについては、中国電力が協定に基づい

た形で負担すべきであり、改めて交渉をしていく。

学校業務カイゼンプラン(※2)

問 学校や教員の業務のあるべき姿を問いただした学校業務カイゼンプランの推進について問う。

答 (教育長) 教員自身の人間的魅力が子どもを育てる大きな原動力。子どもの成長に寄り添いながら、教員も成長することが教員のモチベーションにもなる。ワークライフバランスを保ちながら、モチベーションが高まるようカイゼンプランを機能させる。

特殊詐欺被害対策について

問 地域の関わり合いや一人一人に寄り添うことで被害者を出さない取組、現状と今後の対策を問う。

答 (警察本部長) 今年8月末時点で、被害額約7638万円と前年同期と比べて大幅に増加しており、深刻な事態。地域警察官の高齢者への巡回連絡、地域の会合でのミニ講習など周知を促す。特殊詐欺被害防止アドバイザーや地域警察官から金融機関やコンビニに対して、来店客への積極的な声かけをお願いした結果、認知件数の2倍の被害を直前で阻止できた。今後も社会全体で被害防止に取り組む。

(※1) 「鳥取方式+α」・・・初期段階の「早期検査・早期入院・早期治療」による感染封じ込めに加え、感染拡大期は症状に応じて入院や宿泊・自宅療養に振り分ける県独自の取組。

(※2) 学校業務カイゼンプラン・・・教職員の多忙解消・負担軽減の取組推進のため、時間外業務の削減目標等を定めたもの。

代表質問

会派民主



伊藤 謙二
選挙区 東伯郡
保護員



接種目標は8割

問 県内のワクチン接種は、8月末で51・36%と順調に接種が進んでいるが、県民の皆さんが安心して生活するためには、どの程度の接種率を目標とするのか。

答 10月末には確実に7割を超えていると思うが、12歳以上の接種可能人口の8割を超えるレベルを目指したい。

三回目は国の方針待ち

問 二回目のワクチン接種を終えられた皆さんが心配されているのは、ワクチンの有効期限。医療関係者を含め、早期にワクチン接種をされた人は間もなく半年を迎える。三回目の接種は。

答 三回目のブースター接種につ

いては、国の方針が決まれば、可及的速やかに取り掛かれるよう市町村・関係者と準備を進めたい。

大きな分権議論を提起

問 平成十一年七月に地方分権一括法が成立し、明治維新、戦後改革に次ぐ第三の大改革と期待。機関委任事務制度の廃止や国の関与に関する基本ルールが確立されたが、地方自治体に計画の策定を義務付ける規定は逆に増加。全国知事会長として新たな改革のステップを切り開いてほしいと思うが。

答 一これで一気に国と地方の関係が変わると期待していた。結果として私たちが見たのは何だったのだろうか。現実、政府の方であれこれ政策を出しては、地方の自治体が計画づくりに振り回されている。地方分権改革の有識者会議でも発言を繰り返したり、知事会でももっと大きな分権の議論をすべきではないかと提起している。

新過疎法の理念を共有

問 今年四月一日から過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措

置法（新過疎法）が施行され、新たに旧河原町など旧5町が指定された。指定を受け、国庫補助金の嵩上げや過疎債の活用を喜ぶだけでなく、過疎法の意義や目的を市町と県で共有すべきではないか。

答 新たな過疎法の目指すところ、理念を市町と共有し、これまでの後進性打破のような地域間格差だけでなく、持続的な発展のために、産業や地域おこし、新たな産業創造、農林水産業を含めた活力、人材育成などに取り組むことを共有していきたい。

強度行動障がい支援検討

問 強度行動障がいは、突発的に予想できない行動を取ったり、暴力を振るったり、自傷行為を繰り返したりすることが多いため、その支援には非常に多くのエネルギーが必要とされている。誰一人として取り残さない社会というSDGsの観点から、支援策の在り方を検討すべきではないか。

答 実態をよく調査させていただき、現場の声も聞きながら、新年度に向け、施策の改善、増設等含めて支援策を検討したい。

6人が農作業で事故死

問 県や県警からいただいた資料からすると、平成二十八年からの五年間で、農作業中のトラクターなどの機械事故で13人が亡くなられ、43人の方が重軽傷。今年は、6人の方が亡くなられている。現役の農家の皆さんが命を落とすことは悲しいことであり、県農業にとっても大きなマイナスである。もっと真剣に対策を検討してほしい。

答 今年度は残念ながら死亡事故が6件起きている。県警やJAGグループ、農作業安全推進員の皆さん等を交えて原因の分析をし、新年度に向け対策強化に踏み出した。

交通反則金の納付方法

問 道路交通法施行令の改正に伴い、秋田県と島根県では交通反則金の納付がATMやインターネットバンキングから振り込みできるようにになったが、県でも早期導入を検討すべきでないか。

答（警察本部長） 秋田県と島根県の2県警察において試行されているものであり、今後、警察庁において試行状況を検証し、導入が拡大される予定。その検証、検討を注視したい。

代表質問

一般質問

常任委員会活動

議決結果

一般質問


会派正式名称

【自由民主党】鳥取県議会自由民主党
 【会派民主】会派民主
 【公明党】公明党鳥取県議会議員団

答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事（各部長の答弁も含む）。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため、別に表記した。

9月定例会では、24人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。また、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧いただけます。

鳥取県議会議事録 

※掲載に時間がかかる場合があります。
 ※QRコードから各議員の録画中継がご覧いただけます。
 録画中継は、会議から1年程度の配信です。



※飛沫感染防止のため、アクリル板を設置しています。





島谷 龍司
議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党



地域共生社会の実現に向けた取組について

問 コロナ禍の中、将来にわたり県民があまねく幸福感を持って住んでいける地域共生社会を実現するために、どのように取り組んでいくのか伺う。

答 重層的な社会福祉の在り方を導入するため、国のスキームで助成、交付金制度が導入された。従来からの県の支援制度とともに、県としてもしっかりと地域の中で共生社会が根づいていくように、様々な領域の福祉が同時に満たされていく、そういう鳥取スタイルを追求できるように奨励していきたい。



安田 由毅
議員

選挙区 境港市
会派 自由民主党



今夏の豪雨災害について

問 本年7月、8月に境港を襲った豪雨による河川氾濫、道路冠水、浸水被害への県としての対応、対策は。境港市と協力できることは何か。

答 県として全力を挙げて支援していく。具体的には、県道の側溝の排水機能向上、河口閉塞対策としてのサンドリサイクル促進や皆生海岸の国事業を境港側へ延伸することを国へ要望していく。下水処理能力向上のため境港市が行う対策の見直しに必要な助言を行うなど、協力体制を考えていきたい。



福田 俊史
議員

選挙区 八頭郡
会派 自由民主党



特急スーパーはくとの車両更新について

問 スーパーはくとは、関西圏と鳥取をつなぐ大動脈としてなくてはならない存在だが、導入から27年が経過している。アフターコロナの時代に向け、新型車両を真剣に検討すべきと考えるが、知事の所見を伺う。

答 車両は30年が耐用期間と言われているが、まだ利用可能と考えている。車両を長寿命化して使用期間を延長しながら、その間、収益を稼いで車両更新の費用を賄える体力をつけていく選択肢もある。最終的には会社の経営判断を見守りたい。

 **由田 隆**
議員

選挙区 倉吉市
会派 無所属

県内の土砂災害警戒区域の災害防止対策は？

問 鳥取県は土砂災害防止法に基づき指定した警戒区域について、災害防止対策を実施している。この事業の優先順位の基準と取組状況を伺う。

答 災害防止対策として土砂災害特別警戒区域に対して防止工事を行っている。県内には5,212箇所の指定があり、区域内の学校、福祉施設など、危険度、重要度を優先して取り組んでいるが、災害防止工事が一か所2～3億円と高額になることが多く進みが悪い。県の補助制度を活用して市町村事業を推進したい。

 **濱辺 義孝**
議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

県民の命と財産を守る防災インフラ整備推進

問 近年、梅雨、台風の時期的になると、土砂崩れ、浸水など多くの被害が発生する。鳥取県の安心・安全な地域づくりの観点から、生命と財産を守る防災インフラ整備は急務であり、どのように取り組むのか知事に問う。

答 防災・減災国土強靱化のための緊急対策3か年に加え、5か年の加速化計画が取りまとめられ、今まで手が届かなかったところを加速化でき大変に評価している。この5か年計画に基づく予算を計上しているので、しっかりと活用したい。

 **語堂 正範**
議員

選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

ヤングケアラー相談 農業収入保険の促進

問 LINE相談窓口をどのように評価しているのか。電話相談は子どもたちが相談しやすい時間帯等に拡充してはどうか。

答 SNSの活用は有効かもしれない。ピアカウンセリング(※1)など縦割りにならない合理的な相談体制を研究する。

問 持続可能な農業を実現するため収入保険はセーフティネットである。次年度以降も事業を継続してはどうか。

答 加入運動はこれから。今回の施策がどれくらい加入促進の後押しになるのか見極めたい。


 **興治 英夫**
議員

選挙区 倉吉市
会派 会派民主

大都市圏での感染抑制 ワクチン副反応の公表

問 コロナ感染の全国・地方へのまん延を防ぐため、大都市圏での感染抑制に、知事会として取り組みを。ワクチン接種後の心筋炎・心膜炎などの副反応や死亡事例について、県民に情報提供すべき。

答 感染者周辺の徹底した疫学調査と検査を知事会として共有・横展開し、国に保健所人材の確保を求める。知事会と医師会で、医療提供体制について協議し、共同での政府要望を考える。副反応情報は適宜提供し、必ずしもワクチンが原因ではないが、死因や症状の公表検討する。

 **西川 憲雄**
議員

選挙区 八頭郡
会派 自由民主党

環境配慮の農薬開発、短期・長期の林業政策

問 ①グローバルGAPの時代に環境にやさしい農薬、肥料の開発に率先して取り組んでみては②持続可能な林業を行う上で、短期(伐期を迎えた山頂部付近の材の出荷)と長期(再造林が可能な材価と搬出経費を考えた育林)の取組は。

答 ①今試験場や農業者と実証的に進めている②林業は県内数か所で架線系(※3)を使ってモデル事業を進めている。植栽義務の負担軽減等も考え、未来志向でアプローチできる時代を引き寄せられれば。

 **坂野経三郎**
議員

選挙区 鳥取市
会派 会派民主

デジタル化について ワクチン接種について

問 今年1月の地方自治法施行規則の改正を好機と捉え、立会人型電子契約(※2)の研究を深めては。

答 研究してみたいと思う。

問 デジタル化を使いこなせる方と使いこなせない方との格差を是正していく取組が必要だ。

答 全国民へのきめ細かい配慮を、政府の方には求めていく。

問 ワクチンは不安だったが、2回接種して、家族や議場や、様々な方に会う時の安心感が違う。打ってよかったと思う。

答 若い方々の安心感をつくっていただければありがたい。

(※1) ピアカウンセリング…同じような立場や悩みを抱えた人たちが集まり、対等な立場で話を聞き合うこと。
 (※2) 立会人型電子契約…契約を行う当事者でない第三者が、当事者の指示にもとづいて電子署名を付与すること。
 (※3) 架線系…ワイヤーロープ等を使って木材を搬出する方法。

山口 雅志 議員 

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

**ポストコロナ禍の県内
経済業態変容に向けて**

問 ①産業の高度化と人材育成の必要性について②新設の県産業未来創造課の役割とは。

答 ①少子高齢化が進み生産年齢人口が減少傾向にある中、本県の経済を担っていく女性やシニア、障がい者、外国人材も活躍できるよう様々な手段を尽くして後押しする。産業シフトを起こしながら人材育成を絡め、産業の成長を応援する②デジタル化による企業の生産性向上などの注目すべきポイントを考えながら産業創造に向かうことを目指す。

市谷 知子 議員 

選挙区 鳥取市
会派 無所属

**コロナ医療、米価暴落、
豪雨、脱炭素、原発**

問 ①公的公立病院統廃合計画中止を②医療従事者に危険手当を③コメ概算金2割安に。緊急買上げを国に求めること④豪雨で青谷は毎年床上被害。鳥取市とともに排水機能強化を⑤2030年CO₂削減目標引上げを⑥立地並みの安全協定の改定がなければ原発再稼働は認めるべきでない。

答 ①コロナ禍の中、妥当でないと国にしっかり言う②国に要望③緊急要望した④実施したい⑤具体的に進めたい⑥議会にもご報告申し上げ、議会の皆様の考えに従って判断することになる。

常田 賢二 議員 

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

**鳥取県のDX（※1）
飲食店への支援**

問 ①DX県庁3年計画の効果は②とりネットを模様替えしては③マイナンバーカードの普及啓発は④YouTube等の動画配信に注力しては⑤GoToEat再開は。

答 ①RPA（※2）導入で945時間、AIの自動音声認識で8,800時間の短縮が図られた②委員会を立ち上げ、デジタル社会に対応できるよう検討し改善したい③デジタル化の要であり県の広報で積極的に案内したい④工夫してコンテンツを充実させYouTuberとコラボできれば⑤再度国費を投入するよう政府に働きかける。

川部 洋 議員 

選挙区 倉吉市
会派 自由民主党

**スポーツ振興における
県の役割について**

問 人口減少下でも鳥取県のスポーツ推進を持続可能なものにするために、県・市町村・民間の施設を含めた全てのスポーツ施設の現状を把握し、東中西の圏域ごとに競技ごとの状況を踏まえて、広域化、官民連携も含めた今後の方向性を示すことが広域自治体としての県の役割だと考えるがどうか。

答 今後、国体に向け施設の議論が本格化するが、県が現状を把握し、今後の方向性を示すことはできても、それを圏域ごとで主導するのは難しいのでは。

浜田 妙子 議員 

選挙区 米子市
会派 会派民主

**医療的ケア児入学対応
障がい就労者離職問題**

問 ①普通学校入学を希望する医療的ケア児への県としての支援を問う②障がい者就労での高い離職率の理由がパワハラである現状への対策を問う。

答 ①医療的ケア児対策法が9月に施行された。新年度以降、前に進める体制を考えている。相談支援、人材育成、研修等の母体となる支援センターを検討したい②職場の中での相談支援体制が一番効果的ではないか。それを県としても応援したい。現場、当事者、職場の意見も聞き効果的な対策を取って参りたい。

山川 智帆 議員 

選挙区 米子市
会派 無所属

島根原発2号機

問 ①安全協定改定の協議会を住民に公開してはどうか②原子力防災拠点を100キロ離れた鳥取市としているが米子市、境港市に打診した上で、リスク分散の検討が必要ではないか③避難計画の実効性を第三者がチェックする仕組みがないため全国知事会の会長として提言できないか。

答 ①県としては公開で構わないが中電と合意形成が必要②絶対1か所ということはない。西部の方にも考えていく③第三者がチェックする仕組みを参考にして、我々も要求してもいいかもしれない。

（※1）DX…“デジタルトランスフォーメーション”の略。デジタル技術を活用した社会変革。

（※2）RPA…「Robotic Process Automation」の略。ロボットによる業務（パソコン作業）の自動化。

 **尾崎 薫**
議員

選挙区 鳥取市
会派 会派民主

**学校図書館司書・歯科
技工士養成について**

問 ①県は高校に常勤司書を配置し全国に誇れる学校図書館体制を作った。司書の順次非常勤化を考えたと思うがどうか？②歯科技工士が全国的に不足。少子化などで鳥取歯科技工専門学校が募集停止した。影響は大きいと考える。技工所や色々な歯科医の意見を聞いてほしい。

答 ①計画があるわけではない。予算編成過程の検討で現状維持ということになっている②処遇の問題もある。歯科技工士の課題は関係者とよく協議し、課題解決への議論をしていく。

 **銀杏 泰利**
議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

**鳥取砂丘西側整備活用
鳥取県腎友会要望対応**

問 ①砂丘こどもの国自体どうするか②砂丘西側への入込客増で渋滞加速。抜本的整備方針を③野外教育として砂丘利用の考えは④鳥取県腎友会のコロナ対策などの要望にどう対応するか。

答 ①当面は県から委託②今日の議論を踏まえ、連携協約等も含め市側とよく協議する③(教育長)砂丘はふるさと鳥取を象徴する名勝地の一つ。多くの学校が利用できるような意見具申等する機会があれば提言する④対応済みも多い。話し合いもして修正・改善すべき点は改善する。

 **澤 紀男**
議員

選挙区 米子市
会派 公明党

**「ノウフクJAS」
認証取得の支援を！**

問 2019年に制定された日本農林規格「ノウフクJAS」は正式名称を障がい者が生産工程に携わった農林規格という。県内にも認証取得を目指す、障がい者を雇用する事業所、特例子会社がある。農福連携を進めるうえで非常に重要と考える。「ノウフクJAS」の認証制度や広報、認証取得、販路開拓等の支援について所見を伺う。

答 一種のブランドとなり始めている。その制度について関係者に知らせたり、県としてできる取得の支援をして参りたい。

 **浜田 一哉**
議員

選挙区 境港市
会派 自由民主党

空き家問題について

問 ①各市町村職員が、ケアマネージャーや民生委員、NPO団体等と直接相談に向かう支援体制の推進を②将来近隣に危険を及ぼす空き家除去の補助について、県が示す要件の緩和を市町村と協議すべき。

答 ①未来に向けて非常に重要。市町村と協議しマニュアル化を図りたい②国の空き家法基本指針改正を踏まえ、本県の支援制度について今年度に要綱改正につなげる。例えば水木しげるロードのような公益性がある場合は県事業の対象としたい。

 **内田 隆嗣**
議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

**コロナ禍の成人式の
開催について**

問 来年の成人式には、1月ではない成人式もあるが、ぜひとも今の20歳、今年度20歳の人を参加させてあげたいと非常に強く思う。節目であるから、大人の責任として、できることは全てやって、鳥取県として、県教委としても後押しすべきだと思うが、いかがか。

答 (教育長) 他の市町村、教育委員会にもしっかり伝え、一生に一度の成人式が本場に記念に、記憶に残るものになるような発信、取組につなげて参りたい。

 **西村 弥子**
議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

**コロナ禍の①飲食店対
策②一人親③情報提供**

問 ①飲食店等感染防止施策の効果検証は②ひとり親家庭相談支援センター運営課題の認識を③県民ニーズを捉えた迅速な情報発信と統計分析情報を求める。軽症・無症状が殆どで飲食店締め上げかの声もある。県民は今をどう乗り切るかの大変な闘いの中にある。ぜひご理解下さい。

答 ①効果は現れた②相談員が知恵を貰える仕組みなど改善に向けて取り組む③議場で取次がれても困るが議員は正しい。できる限り情報を出したいが、難しい環境での対応にご理解を願う。

中島 規夫 議員 

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

水害対策、県立美術館整備の進め方

問 線状降水帯による大災害などに対し、有利な事業を使い、計画の見直しや前倒しへの考えは。

答 防災・減災・国土強靱化などを使い前倒しで進める。日置川（鳥取市青谷町）も同様で、樋門は開閉式にし、堆積物は令和4年度の出水期までに取り除く。

問 県文連役員の美術館整備への数々の不平不満について、事実認識、背景及び今後の対応は。

答 予算、スケジュールの面で協力する。(教育長) 鳥取県文化団体連合会の意見を聞き、PFI事業者とも協議し進める。

野坂 道明 議員 

選挙区 米子市
会派 自由民主党

美保関沖事件の検証 行財政改革の諸課題

問 ①美保関沖事件(*)は全国的にみても貴重な歴史遺産であり、後世につないでいくための取組を県として対応すべきである②コロナ禍を乗り越えるためにも、行財政改革局をバージョンアップさせ、官民連携や業務改革を含んだ行政改革のエンジンとなる組織が必要ではないか。

答 ①慰霊事業を行ってきた地元境港市を中心に、意見を聞き相談しながら進めていく②協働連携の仕組みと結びつくような組織について、新年度の組織改正の中で検討したい。

福浜 隆宏 議員 

選挙区 鳥取市
会派 無所属

①コロナ②最低賃金③ 日常の観光メニュー化

問 ①首都圏や関西圏の感染の波は必ず本県に。確保病床数などトップの危機意識の差を知事会長として解消を②コロナ禍で収益減での最低賃金アップは経営者には困難。パートの方々の労働時間を削られたとの悲鳴にどう応えるか③農林水産業の日常の作業を観光メニュー化し2～3時間体験コース等で『非日常』を気軽に体験できる受け皿を。

答 ①危機感を持ち動く組織と権限、専門家や現場の情報が入る仕組みが必要②知事会として要望中③非常に重要な着眼点。

(*)美保関沖事件…昭和2年8月24日に松江市美保関沖で旧日本海軍の軍艦4隻が夜間演習中に衝突し、119人が犠牲になった事件。

県議会からのお知らせ

11月定例会の日程案


期日	日程
11月30日(火)	本会議(開会・提案理由説明)
12月1日(水)	常任委員会
2日(木)	本会議(代表質問)
6日(月)	本会議(一般質問・質疑)
7日(火)	
9日(木)	
10日(金)	
14日(火)	
15日(水)	
17日(金)	常任委員会
20日(月)	特別委員会
21日(火)	本会議(採決・閉会)

※ 日程は変更の可能性があります。
※ 午前10時開始の予定です。

パソコン・スマートフォンでご覧いただけます

本会議、常任委員会、特別委員会などの生中継と録画中継のインターネット放送は、パソコン・スマートフォンからもご覧いただけます。

また、本会議はケーブルテレビでもご覧いただけます。

 県議会インターネット放送局

鳥取県議会ホームページは
こちらから→



“ほっ”と一息

長いコロナ生活、心も体も固まりそうな中、やっと先に明るさが見えてきたようだ。暑い秋から寒い冬に向かおうとしている。しかし今年の冬はそのような生活にさよならをして、寒さを吹き飛ばして、身も(財布)心も暖かくしてゆったりと、年を越したい。気持ちだけでも。(広報委員会K)

常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審査に加え、閉会中も継続審査や現地調査、出前県議会、勉強会などの活動を続けています。

総務教育常任委員会



9月定例会では、新型コロナウイルス感染症対策や7月豪雨被害の復旧・復興支援のため必要な対策を早急に講じるための予算を盛り込んだ本委員会所管に係る令和3年度鳥取県一般会計補正予算（第6号）など3議案について、慎重に審査を行った結果、いずれの議案も妥当なものと認め、原案のとおり可決、又は承認すべきものと決定した。

また、「いわゆる“SDGs”の取り組み推進に係る意見書の提出について」及び「ファミリーシップ制度の導入について」の今回新たに提出された陳情2件について、慎重な審査を行い、委員による採決の結果、いずれも「不採択」と決定した。

福祉生活病院常任委員会



9月定例会では、本委員会所管の補正予算など6件の議案について慎重に審査を行い、いずれも原案どおり可決、又は承認すべきものと決定した。

また、新たに提出された陳情5件について慎重に審査を行った結果、大口径ライフル射撃場の新設に係る陳情及び私学助成に関する意見書の提出を求める陳情については、いずれも「趣旨採択」と決定するとともに、その他3件の陳情については、既に要望済みなどの理由により「不採択」と決定した。

そのほか、9月3日に「産後ケアの取組」及び「自然エネルギーの活用に向けた取組」に係る県内調査を取組団体の代表者を招いて実施し、今後の議論を深める契機とした。

農林水産商工常任委員会



9月定例会では、本委員会所管の「令和3年度鳥取県一般会計補正予算（第7号）」など4件の議案について慎重に審査を行い、いずれも原案どおり可決、又は承認すべきものと決定した。

8月30日に「木材需要の高まる中での今後の林業・木材産業の競争力強化について」をテーマに林業・木材産業関係者、行政機関とオンラインで出前県議会を実施し、現状や課題等についての説明を伺い、意見交換を行った。

同日、「人材育成と就労状況について」をテーマに県立倉吉農業高等学校の教師、生徒とオンラインで県内調査を実施し、生徒からの発表を伺い、活発な質疑を行なった。今後の議論を深めるため、大いに参考になるものであった。

地域づくり県土警察常任委員会



9月定例会では、令和3年度鳥取県一般会計補正予算（第7号）など7議案について慎重に審査を行い、いずれの議案も妥当なものと認め、原案のとおり可決、又は承認すべきものと決定した。

併せて、新たに提出された陳情4件のうち、「皆生海岸侵食対策（和田工区）について」は、県管理区間である和田工区において、冬季風浪による浜崖の発生や他区域の整備に伴う汀線後退など砂浜の侵食が危惧されることから、富益工区に続き、国直轄工事により離岸堤等の抜本的対策を講じ、砂浜の適切な保全を図るべきであり、全会一致で「採択」とすることに決定し、その他の3件の陳情については「不採択」と決定した。

自由民主党								会派民主						公明党			無所属			賛成者数	反対者数	表決者数	議決結果									
安田	中島	福田	藤縄	斉木	浜崎	西川	浜田	内田	広谷	内田	野坂	島谷	坂野	西村	森	尾崎	浜田	興治	伊藤					福岡	瀧辺	澤	銀杏	山川	福浜	由田	市谷	
由毅	規夫	俊史	喜和	正一	晋一	憲雄	一哉	博長	直樹	隆嗣	道明	龍司	経三郎	弥子	雅幹	薫	妙子	英夫	保	裕隆	義孝	紀男	泰利	智帆	隆宏	隆	知子					
議案に対する賛否																																
○	○	○	○	○	-	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	32	1	33	可決
○	○	○	○	○	-	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	32	1	33	可決
○	○	○	○	○	-	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	32	1	33	可決	
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	可決	
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	可決	
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	25	9	34	可決	
×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	11	23	34	否決	
×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	11	23	34	否決	
×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	11	23	34	否決	
委員長報告に対する賛否																																
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	×	×	23	11	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	趣旨採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	×	×	23	11	34	不採択		
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	25	9	34	不採択		
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	25	9	34	不採択		
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	25	9	34	不採択		
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	20	14	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	25	9	34	不採択		

議決結果…議案は「可決」「否決」「同意」「承認」「認定」等の区分による。
 …請願・陳情は「採択」「趣旨採択」「研究留保」「不採択」の区分による。

議案等番号	件名	議決結果
⑭	令和2年度鳥取県天神川流域下水道事業会計決算の認定について	継続審査
⑮	令和2年度鳥取県営電気事業会計未処分利益剰余金の処分及び令和2年度鳥取県営企業決算の認定について	継続審査
⑯	令和2年度鳥取県営病院事業決算の認定について	継続審査
⑰	専決処分の承認について	承認
⑱	鳥取県人事委員会委員の選任について	同意
❶	「特殊土壌地帯災害防除及び振興臨時措置法」の期限延長を求める意見書	可決
❷	コロナ禍による米価下落に対する緊急支援を求める意見書	可決
陳情3年-15	大口徑ライフル射撃場の新設について	趣旨採択
陳情3年-21	皆生海岸侵食対策（和田工区）について	採択

令和3年9月定例会付議案等議決結果

賛否が分かれた議案及び否決された議案

議案等番号	件名	自由民主党							
		語堂 正範	常田 賢二	川部 洋	松田 正	藤井 一博	鹿島 功	山口 雅志	
⑤	令和3年度鳥取県営工業用水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	
⑩	工事請負契約（国道181号（江府道路）トンネル工事（久連トンネル）（補助改良））の締結について	○	○	○	○	○	○	○	
⑪	工事請負契約（国道313号（倉吉関金道路）橋梁上部工事（石塚高架橋（P5～A2））（補助改良））の締結について	○	○	○	○	○	○	○	
②	「こども庁」の設置を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	
④	台湾のCPTPP（環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定）参加を積極的に支援するよう求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	
⑤	憲法改正に向けた国会における議論の推進と国民的議論の喚起を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	
⑥	国民の命と暮らしを守る新型コロナウイルス感染症対策の実施を求める意見書	×	×	×	×	×	×	×	
⑦	子どもと子育て世帯への経済的支援を求める意見書	×	×	×	×	×	×	×	
⑧	原発稼働における周辺地域を含む地元同意の法制化を求める意見書	×	×	×	×	×	×	×	
議案等番号	件名	委員長報告							
陳情3年-16	原発稼働の要件の中に、原子力災害時の避難計画を国が審査・検証する仕組みを作ることを求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情3年-17	私学助成に関する意見書の提出について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情3年-18	島根原発2号機再稼働の是非について意見を述べる前に、中国電力に対して立地自治体並みの安全協定の実現を強く求めることについて	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情3年-19	酒類の提供禁止に係る要請とコンプライアンスに係る意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情3年-20	新型コロナウイルス感染症ワクチンの異物混入に係る情報提供及び再発防止等を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情3年-22	いわゆる“SDGs”の取り組み推進に係る意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情3年-23	ファミリーシップ制度の導入について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情3年-24	戦没者の遺骨が眠る土砂を辺野古新基地建設の埋め立て等に使用しないよう求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情3年-25	コロナ禍における医療提供・相談体制の充実と周知について	不採択	○	○	○	○	○	○	○

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案
 賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長、「-」議場に不在であり、表決しなかった議員。
 ※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

全会一致で議決された議案

議案等番号	件名	議決結果
①	令和3年度鳥取県一般会計補正予算（第6号）	可決
②	令和3年度鳥取県一般会計補正予算（第7号）	可決
③	令和3年度鳥取県県営林事業特別会計補正予算（第1号）	可決
④	令和3年度鳥取県営電気事業会計補正予算（第1号）	可決
⑥	令和3年度鳥取県営病院事業会計補正予算（第2号）	可決
⑦	鳥取県税条例の一部を改正する条例	可決
⑧	貸付金の返還に係る債務の免除に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑨	鳥取県高齢者、障害者等の移動等の円滑化を図るための信号機等の基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
⑫	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	可決
⑬	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立大山駐車場）について	可決

県内高校生からの

県政に対する提言・質問



新型コロナウイルス感染症の県内での感染急拡大を受け、令和3年度高校生議会の開催は中止としましたが、参加を予定していた高校生から、県政に対する提言等が寄せられました。県担当部局の回答とあわせて、その一部をご紹介します。

✿ ヤングケアラー(※1)への支援について

米子松蔭高等学校 2年 千代田 真歩さん

Q 誰もが平等に希望に向かえる環境を整備するため、教職員・生徒が対象の研修会の開催や、家族への介護の必要性が判断された段階から関係部署や学校が連携、情報共有する早期支援の実施が必要では。

A 支援者の理解促進と対応力向上を図るため、8、9月に行政、教育関係者等を対象に研修用動画の配信を行いました。社会的認知度の向上、早期把握と支援につながるよう、引き続き県民への広報や関係者への研修等を実施するとともに、ヤングケアラー対策会議で関係機関との連携を活かした対策等をさらに検討していきます。

✿ 小・中学生の第三の居場所づくりについて

鳥取東高等学校 3年 藤井 希望さん

Q 子どもが安心でき、家庭と学校の橋渡しとなる「第三の居場所」が必要だが、支援方法や施設運営等がまだ整っていない施設も少なからずあると思われ、運営事業者間の横のつながりも薄いように感じるとの話を聞いた。交流、意見・情報交換の場を整備してほしい。

A 学校でも家庭でもない「第三の居場所」は必要であり、「家庭と学校の橋渡しをする場」という観点での交流の実施も必要と考えます。行政が行っている支援についての情報も提供しながら、子どもの居場所全体で情報交換が行われるよう支援していきます。

✿ 教育を通じた持続可能な社会について

米子北斗高等学校 3年 坂口 太一さん

Q 鳥取県らしい教育を次世代に継続して行っていくためにも、教員の養成は県内の大学で行うべきではないか。鳥取大学に教育学部教員養成課程の復活を求めたい。

A 鳥取県に愛着を持ち、鳥取県の子どもたちのために本気で教壇に立とうという志の高い人を採用していくことはとても大事な視点であると思いますので、いただいたご意見は鳥取大学に伝えていきます。

✿ 鳥取県のグローバル化に伴う人材育成について

青翔開智高等学校 2年 明間 凜太郎さん
2年 藤原 野乃花さん

Q 本県がよりグローバル化するには、グローバル人材を多く育成する必要がある。本県に特化した独自の人材像を描きその育成を明確化する教育計画を立てるとともに、「教育に関する大綱」にその必要性和具体的な教育計画を記載してはどうか。

A 人材育成の必要性等を「鳥取県教育振興基本計画」や「教育に関する大綱」に明記し、取り組んでいるところですが、小中高等学校でのふるさとキャリア教育の充実を基盤として、さらに取組を推進していきたいと考えています。

✿ 「学校におけるSOGI(※2)」及び「県全体としてのSOGIハラスメントへの対策」について

鳥取西高等学校 2年 加賀田 理元さん
2年 太田 結彩さん

Q 本県は他県と比較して、性などの多様性に配慮した制服制度への改善が遅れているように思う。児童、生徒の誰もが自分らしく学校生活を送れるよう、県内すべての学校の制服制度の改善にどのように取り組まれるのか。

A 制服を見直す際には、性的マイノリティに対する配慮だけでなく、様々な視点から幅広く検討していただけるよう、教育委員会や私立学校に話をしたいと考えています。

(※1) ヤングケアラー・・・病気や障がいのある家族の世話や介護を日常的に行っている18歳未満の子ども。

(※2) SOGI・・・Sexual Orientation & Gender Identityの略。性的指向(好きになる性)、性自認(心の性)のこと。